

伝統の継承・発展とデザイン

伝統的な技能や技術を見直し、継承していくことは、文化的景観の形成と保全に不可欠です。そのための知恵と工夫をこらし発展させること、すなわち《デザイン》が、とてもたいせつな、不可欠の課題です。研究プロジェクト「北部九州の窯業に着目した文化的景観の形成と保全に関する研究」としての、最終シリーズです。4名の方々のおはなしをもとに、この課題を考えたいと思います。是非ご参加ください。

場所：九州産業大学景観研究センター 景観ライブラリー (23号館4階)

写真：東峰村 竹地区の棚田



小鹿田 陶土 唐臼



小石原 成形



小石原 天日干



有田 焼成



大川内山まち

第1回

10月28日(火) 陶芸を通してみる世界の中の日本

18:00-19:30 松尾伊知郎 魚蓮坊窯窯主 九州産業大学 有田窯業大学校 非常勤講師

第2回

11月11日(火) 農山村風景の継承 一内側から保全するしくみー

18:00-19:30 真田 純子 徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部 助教

第3回

11月25日(火) 有田焼を世界へ

18:00-19:30 松本 哲 弥左エ門窯 七代目当主

第4回

12月19日(金) お店とはものづくりの編集デザインである。商いの仕組みと仕掛け。

18:00-19:30 白水 高広 うなぎの寝床 代表 (八女市)



景観ライブラリー (23号館4階)

※参加無料

JR九産大前駅 至小倉